

日本語タイトル

English Title

○ 正 東京 太郎 (東理大) 学 関東 花子 (東理大)
正 葛飾 一郎 (機械高専)

Tarou TOKYO, Tokyo University of Science, Nijuku 6-3-1, Katsushika-ku, Tokyo 125-8585

Hanako KANTO, Tokyo University of Science

Ichiro KATSUSHIKA, National College of Mechanical Engineering, Chiyoda 1-1-1, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8111

This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract. This is the abstract.

Key Words: keyword1, keyword2, keyword3, keyword4

1 はじめに

このファイル (sampleTex.tex) は 93 期流体工学部門講演会専用のサンプルファイルで, pLaTeX2e 専用です。このファイルを pLaTeX2e で処理するためには, fed2015doc.sty (93 期流体工学部門講演会専用) が必要です。このファイルの使用に際しましては使用者御自身の責任においてお使いください。このファイルを使用して, 不都合が生じましても, 責任は負いません。

2 論文 (2 ページ) の作成方法

講演論文集用の 2 ページの執筆については, このサンプルのままお使いください。なお, 使用言語は, 日本語あるいは英語のいずれでも結構です。

3 タイトル

タイトル部 (講演番号, 題目, 著者, キーワード) のテンプレートには, 題目や著者名などの書式があらかじめ設定されていますので, 各項目で示された項目を入力して下さい。

3.1 講演番号 講演番号は講演者各自でホームページ上のプログラムを確認し, ご記入ください。

3.2 本文 このテンプレートを用いると自動的に 2 段組でタイプセットされます。段落の先頭の字下げも自動的に行います。本文の書き方については, TeX の参考書やこのサンプルを参考にしてください。

3.2.1 数式 数式等は TeX の文献等を参考にして下さい。例えば,

$$\sin A = \frac{a}{b} \quad (1)$$

と書けます。式の引用は, 式 (1) のようにして下さい。

4 図, 表および参考文献

図や表のタイトルおよび図中の説明文, ならびに表中の文字は英文で表記して下さい。表のタイトルは表の上部に, 図のタイトルは図の下部に, センタリングして表記し, 本文と図表の間には十分な空白を設けて下さい (図 1 参照)。図を縮小して

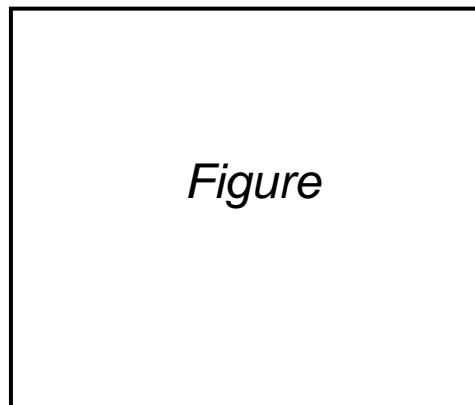


Fig. 1: Sample figure.

用いる場合は, 図中の文字が小さくなり過ぎないようにご注意ください。

本文中で引用された文献⁽¹⁻²⁾等を記載する場合には, 通し番号を振り, 著者, 論文名, 出典, 年号, 頁をご記入下さい。スペースに余裕がない場合, 共著者と題目を省略しても構いません。

5 テンプレートのダウンロード

このテンプレートは以下のサイトより入手できます。また, TeX 用のテンプレートの他に Word 用のテンプレートも用意してあります。

<http://www.jsme.or.jp/conference/fedconf15/>

参考文献

- (1) 東京太郎, 講演論文の書き方, 機誌, 0-00 (2014), 1-2.
- (2) Katsushika, H.S. et al., How to write proceedings paper, Int. J. Mech. Eng., 777 (1849), 5-10.